

平成23年度 安全衛生に係わる表彰

厚生労働大臣表彰 受賞者名簿

優良賞

鹿島・東亜・鹿島道路異工種建設工事共同企業体
(東京国際空港国際線地区エプロン等整備事業B工区)

功績賞

安福 慎一 (東京衛生管理者協議会会長)(新日本製鐵株式會社人事・労政部部长)
佐野 角夫 (社団法人品川労働基準協会会長)

平成23年度 安全衛生に係わる表彰

東京労働局長表彰 受賞者名簿

優良賞

有期事業

株式会社大林組東京本店
(後楽二丁目西地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事)
鹿島・高元建設共同企業体((仮称)秋葉原ビル新築工事)
JFEエンジニアリング株式会社
(平成20年度大井埠頭第6バースコンテナ立体格納庫製作設置工事)

奨励賞

継続事業

住重特機サービス株式会社
横河マニュファクチャリング(株)青梅事業所

有期事業

株式会社長谷工コーポレーション(板橋駅前計画新築工事)

功績賞

坂田 甲一 (前上野労働基準協会会長)
赤枝 恒雄 (前港地域産業保健センター長)
土方 康志 (建設業労働災害防止協会東京支部北多摩分会長)
角田 徹 (前多摩東部地域産業保健センター長)

安全衛生
推進賞

後藤 文男 (元労災防止指導員、前五洋建設(株)東京土木支店(兼)東京建築支店安全品質環境部部长)
宮本 和也 (元労災防止指導員、東海海運(株)取締役物流本部部长)
森 源一 (元労災防止指導員、鹿島建設(株)東京建築支店安全環境部担当部長)
柳沢 定助 (元労災防止指導員、(有)柳沢定助建築設計研究室代表取締役)
後藤 重彌 (新宿地域産業保健センター相談医)
佐藤 芳治 (元労災防止指導員、IHプラント建設(株)安全衛生部主査)
飯田 宣裕 (元労災防止指導員、大日精化工業(株)東京製造所事業所長付部長)

平成23年
11/29(火)
午後1時30～5時00分
一ツ橋ホール

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
(財)日本教育会館

第8回 東京産業 安全衛生大会

2011

参加費無料

第一部 安全衛生表彰

第二部 特別報告

「福島第一原発事故に係る
緊急消防援助隊の活動について」

NTT都市開発株式会社 シニアアドバイザー(防災担当) 佐藤康雄
(前 東京消防庁警防部長)

特別講演

「安全100年、
労働の中から生まれた
安全思想と安全技術」
～ものづくり大国・技術立国「日本」のこれから～

明治大学 理工学部機械工学科 教授 工学博士 杉本 旭

安全

第一

健康

主催：東京労働局 各労働基準監督署(支署)
公益社団法人 東京労働基準協会連合会 各地区労働基準協会
協賛：東京経営者協会 日本労働組合総連合会東京都連合会 建設業労働災害防止協会東京支部 陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京都支部会
港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京支部 林業木材製造業労働災害防止協会東京支部 (社)日本ボイラ協会東京支部
(社)日本クレーン協会東京支部 (公社)ボイラ・クレーン安全協会東京事務所 (社)建設荷役車両安全技術協会東京支部 東京産業保健推進センター
後援：東京都

第8回 東京産業安全衛生大会2011

プログラム

1	開会	13:30
1	主催者挨拶 山田羽矢 亮 東京労働局長 公益社団法人 東京労働基準協会連合会会長	13:30
2	来賓挨拶 関澤和野 秀哲 中央労働災害防止協会理事長 安広博 東京経営者協会常務理事 大野博 日本労働組合総連合会東京都連合会会長	13:40
3	安全衛生表彰	13:55
	〈休憩〉 10分	14:30
4	特別報告 「福島第一原発事故に係る 緊急消防援助隊の活動について」 NTT都市開発株式会社 シニアアドバイザー（防災担当） （前 東京消防庁警防部長） 佐藤 康雄	14:40 15:30
5	特別講演 「安全100年、 労働の中から生まれた安全思想と安全技術」 ～ものづくり大国・技術立国「日本」のこれから～ 明治大学 理工学部機械工学科 教授 工学博士 杉本 旭	16:40
6	大会宣言 大島 義和 建設業労働災害防止協会東京支部支部長	17:00
	閉会	17:00

特別報告

「福島第一原発事故に係る 緊急消防援助隊の 活動について」



NTT都市開発株式会社
シニアアドバイザー（防災担当）
（前 東京消防庁警防部長）

佐藤 康雄

略 歴

学 歴	千葉工業大学 工学部 機械工学科
職 歴	昭和50年4月 東京消防庁入庁 赤坂、赤羽、日本橋の予防・警防課長を歴任 平成14年4月 消防科学研究所 第二研究室長 平成15年4月 武蔵野消防署長 平成17年4月 予防部参事 危険物保安技術協会 タンク審査部長 平成19年4月 予防部参事 兼 予防課長 平成21年4月 第一消防方面本部長 平成22年4月 警防部長 平成23年4月 NTT都市開発株式会社 シニアアドバイザー
主な研究歴	平成19年 乾式工法を用いた防火区画遮煙性能に関する調査・研究 平成20年 防耐火ガラス等を用いた消防活動拠点の在り方に関する調査・研究
所属学会	日本火災学会

1952年生まれ。父、息子と親子三代にわたる生粋の消防官。小学校の頃から消防士にあこがれ、1975年東京消防庁に入庁。起震車の製作に始まり、火災予防や救急、防災、人事、研究所と、消防のあらゆる実務経験を持つ。

武蔵野消防署長、第一消防方面本部長等を歴任し、2010年より東京消防庁警防部長に就任。

去る3月11日、東日本大震災においては、東京消防庁の全部隊1,800隊、18,000名の職員を統括し、大都市東京および近郊の災害対応にあたった。

震災につぐ福島第一原子力発電所の原子炉災害にあたって、東京都緊急消防援助隊の総隊長として精鋭30隊、138名の職員を率いて放水冷却作戦に臨み、炉心溶融の拡大を防いだことは国民の記憶に新しい。石原慎太郎都知事から被災地派遣命令を受け、準備に追われる中、夫人へ「福島原発に行ってくるよ」とメールを送った。「日本の救世主になってください」と、1行の返信を胸に出立。この時の体験を元に危機管理時の安全管理の実践について語る。

特別講演

「安全100年、 労働の中から生まれた 安全思想と安全技術」

～ものづくり大国・
技術立国「日本」のこれから～



明治大学 理工学部機械工学科
教授 工学博士

杉本 旭

略 歴

1945年岡山県出身、1971年に早稲田大学大学院（機械工学専攻）修士修了後、同年に労働省産業安全研究所勤務し主任研究官を経て、2001年より北九州市立大学国際環境工学部環境機械システム工学科教授、2006年長岡技術科学大学システム安全専門職大学院の教授を歴任し、2010年明治大学理工学部機械工学科教授として現在に至る。
この間、1990年「安全の原理」を発表、フェールセーフを実現する安全確認型の「安全技術原理」を公表、また2002年NPO「安全工学研究所」理事長、2006年ISO/TC199（機械安全）国内審議会委員長職を務めるなど、全国で幅広く活躍をされている工学博士。

労働災害の歴史は語ります。産業の発達とその原動力となるエネルギーの利用を巧みに操り、社会経済の富と国民の生活の向上に大きな利益をもたらしたと…

また、その背景には、多くの労働災害が発生し、尊い命が失われてきたと…以来、1972年、英国のローベンス報告が労働安全の新しい思想を法制化と言う機械安全を始めとした更なる安全確保への歩みと、欧州の統一規格に繋がる時代を創り、日本における「労働安全衛生」への出発点を築いたのですが、昨今のヨーロッパやアジアにおける山岳鉄道や高速鉄道事故などの大災害の頻発や、日本での巨大な自然災害に端を発した原子力事故などの真の原因は何か？、また、その基本となる「機械安全の思想と安全確認のあるべき姿」は？など、様々な機械安全のスピリットについて考えます。